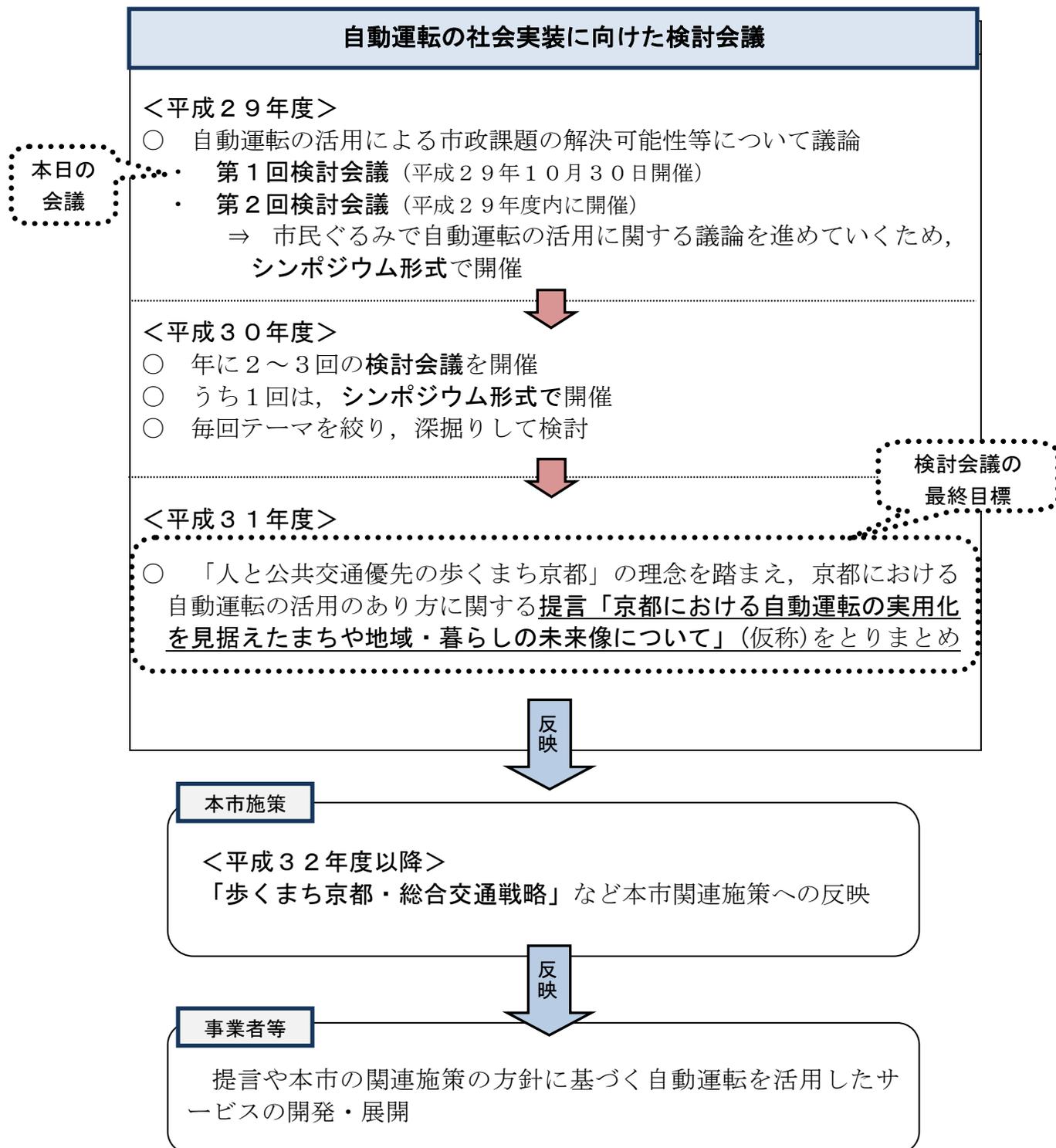


検討会議の進め方及びスケジュール（案）

<検討の進め方>

自動運転の社会実装に向けた検討会議は、自動運転の活用によるまちの魅力の創出や自動運転技術による市政課題の解決可能性について、毎回テーマ（一例は裏面のとおりに）を絞って議論を進める。

シンポジウムやイベントも交えながら、市民ぐるみで検討を深め、最終的には、京都における自動運転の活用のあり方に関する提言をとりまとめる。



＜主な議論のテーマ＞

テーマ	自動運転が実用化された場合に期待される効果等
【観光・交通】	<ul style="list-style-type: none"> ○交通事故の減少 ○都心部や観光地の交通渋滞の解消 ○既存の公共交通の自動運転化 ○カーシェアリングの進展による自動車台数の減少
【中山間地域】	<ul style="list-style-type: none"> ○山間地域の移動手段の確保 ○既存の公共交通の自動運転化
【都心部の物流】	<ul style="list-style-type: none"> ○交通渋滞の解消 ○物流の効率化
【福祉交通】	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者や障がい者の移動手段の確保 ○教育・子育て環境の変化（保育所の送迎・小学校の登校など）
【環境】	<ul style="list-style-type: none"> ○ごみ収集の効率化 ○カーシェアリングの進展による自動車台数の減少
【その他】	<ul style="list-style-type: none"> ○農林業の効率化 ○土地利用の変化（駐車場の減少など） ○自動車の流入抑制 ○新産業の創出

＜自動運転が実用化された京都のまちのイメージ＞

